遠野市社会福祉協議会令和２年度事業報告書

◇ はじめに

Ⅰ　令和２年度の概要

地域福祉活動計画 2016 の最終年度として、5 年間の取り組みについて成果と課題を明らかにしながら、「地域共生社会の実現」に向け、安心して暮らせるとおのを築くため「福祉でとおのづくり」を基本方針とし、次の事業に取り組みました。

１　法人全体　「福祉でとおのづくり」の実現

（１）　「福祉でとおのづくり」の実現に向けた取組み体制

相談支援部門強化のため相談総括主幹を、ちょボラの方向性を検討するためちょボラ改革主幹を配置し、協議検討を行いながら今後の体制や役割などについて各種計画に位置づけ、今後の取り組みを明確にすることができました。

（２）　新型コロナ感染症（以下新型コロナ）「コロナタイムライン」の作成

「タイムライン」を作成し、フェーズに合わせ法人運営、それぞれの事業を推進しました。

（３）　「地域福祉活動計画2021」の策定

遠野市が策定する「地域福祉計画」と整合性を図るため、健康福祉の里と遠野市社協それぞれの計画策定メンバーの実務者会議、遠野市社協職員策定コアメンバー会議、遠野市社協全体でのテーマ別ワーキングを実施しました。7月から随時開催した遠野市社協支部との懇談会で出された意見も計画に反映するように策定作業を進め、令和7年度までの5年間の地域福祉活動計画が完成しました。

（４）　「中期経営計画2021」の策定

地域福祉活動計画を実践していくための下支えとして、遠野市社協の経営基盤を確立し、継続可能な取り組みと経営のあり方について理念と、具体的な取り組みについて指標を示し策定しました。

〔推進項目〕
（１）　地域福祉活動計画2021の策定
（２）　中期経営計画2021の策定

２　総務企画課　「継続可能な取り組みと経営」

（１）　経営改善への取り組み

経営改善計画最終年度である令和元年度決算の大幅な損失を受け、令和２年度は職員が一丸となって経営改善に取組むため、全事業所を巡回し経営状況について職員説明会を実施、各事業所で改善案を検討し取り組みました。

（２）　特別財政支援

平成 28 年度から市から受けてきた特別支援 10,000 千円については、今年度から自主財源を伴う地域福祉事業に要する実費相当額について、市が支援することになりました。

（３）　働き方改革関連法に基づく取組み推進

７月に社会保険労務士と顧問契約を結び必要な事項についての対応を進めてきま

した。同一労働同一賃金対応の検討により「臨時職員」の職種を廃止しすることとし、該当職員への説明と規則の一部改正を行い、令和３年４月１日からの開始としました。

労務管理については働き方改革関連法の目的である「雇用形態に関わらない公正な待遇の確保」「多様で柔軟な働き方」を推進するための改善を進めていきます。

（４）　第８回遠野市社会福祉大会の開催

実行委員にアンケート調査を行い、新型コロナ対策を講じ、時間短縮・規模縮小の式典のみで開催しました。

〔推進項目〕
（１）　地域福祉活動計画2021の策定
（２）　中期経営計画2021の策定
（３）　第８回遠野市社会福祉大会の開催(隔年開催)

３　地域福祉　「支えあいと相談体制の再耕」

（１）　遠野市との「新たな地域支え合い」に係る連携協定の締結

遠野市との連携協定を締結し、小さな拠点（地区センター）に丸ごと相談員を順次配置し、より身近な場での相談機能を強化するとともに、地域での「新たな支え合い」をさらに進めていくことを確認しました。

（２）　生活支援チームの取り組み

相談支援部門と地域福祉課職員が連携し、制度の狭間にある課題や地域課題の共有、解決に向けた協議検討を行い、多職種連携や時代が求めるニーズ対応が可能となる体制の強化を図りました。相談員の人材育成については、新型コロナの感染防止のためＷＥＢ環境を整備、積極的に会議や研修に参加し自己研鑽や情報収集に努めました。

（３）　コロナ禍への対応

令和２年度は、特にも新型コロナの影響による減収や生活困窮などの相談が増加し、生活福祉資金貸付や自立生活相談窓口などが連携しながら相談者への対応を行いました。

（４）　権利擁護活動の推進

釜石・遠野地域成年後見センターが主催する「市民後見人養成講座」に遠野市からも受講し、５名の市民後見人が登録されました。また、法人後見事業への相談件数も増加し新たに３件を受任し取り組みを進めています。

〔推進項目〕
（１）　地域づくりと福祉づくりの融合
（２）　断らない相談支援体制の整備
（３）　制度の狭間にある福祉課題解決のための資源づくり
（４）　権利擁護活動の推進

４　在宅福祉　「介護・福祉サービスの基盤強化」

（１）　新型コロナ対策

新型コロナ対策を強化し、利用者、職員の感染予防を徹底しながら継続的に事業

を推進してきました。また厚生労働省等から発出される情報収集に努め、緊急包括支援事業（職員慰労金支給事業、感染対策支援事業、医療機関・薬局等感染拡大防止支援事業）など、スピード感をもって対応しました。

更には、令和 2 年 10 月から半年間、臨時的な取り扱い第 12 報（2 区分上位加算、緊急入所加算）の算定を開始し、通所介護事業、短期入所事業で計 5,021 千円の加算を取得しました。

（２） 持続可能な介護保険事業運営

持続可能な事業運営のため、令和元年度利用者が大幅に減少したふれあいホーム上郷について、収支均衡、適正規模の運営を目指し 7 月 1 日より土曜日、日曜日を閉所しました。

週 2 日間の閉所に伴い 6 名の常勤職員を他事業所に分散し人件費の抑制を図りました。

（３） 高齢者等見守り体制構築事業

オール社協職員で取り組んだ「高齢者等見守り体制構築事業」では、法人全体で 81 名が従事しうち介護保険事業所職員は 67 名が調査に携わり、地域の困りごとの把握に取り組みました。

〔推進項目〕

（１） 持続可能な介護保険事業の運営

（２） とおの型の「集いの場」づくり

（３） 介護職員の処遇改善

Ⅱ　法人運営の概要

１　法人運営

事業名	事業計画（概要）	実　施　状　況
（１）社協の組織運営		
法人運営	①　組織体制 ②　組織・事業運営の適正化 ③　経営状況の把握 ④　遠野健康福祉の里との連携 ⑤　苦情受付体制 ⑥　労働法に基づく労務管理・働き方改革対応	①　組織体制 ３課１福祉センター10 事業所で運営した。宮守福祉センターに事務職１名を継続配置し、宮守地区の地域福祉の拠点とした。 ②　組織・事業運営の適正化 法人の公益性の徹底や経営情報の適切な開示、組織のガバナンスの強化に努めた。 ③　経営状況の把握 四半期毎の経営状況を分析し、事業の効率化に努めた。 ④　遠野健康福祉の里との連携 毎月定例連携会議を開催し、情報共有及び検討課題の調整を図った。 ⑤　苦情受付体制 当法人が実施する事業の苦情について、適正に対応するため第三者委員を配置した。 ⑥　労働法に基づく労務管理 ７月から社会保険労務士と顧問契約し働き方改革の対応をすすめ、身分や待遇等を比較した結果、令和３年４月から臨時職員の職種を廃止とすることとした。
（２）会議及び研修等の開催		
会議の運営	①　事務局会議（月１回） ②　三役会（月１回） ③　理事会（年４回） ④　評議員会（年４回） ⑤　監査（年４回） ⑥　課長・所長会議（月１回）	①　事務局会議 毎月三役会議前に開催し、諸課題等について協議した。 ②　三役会議 毎月開催し、経営状況及び事業の進捗状況について協議した。

<table>
<tr><th>事業名</th><th>事業計画（概要）</th><th>実　施　状　況</th></tr>
<tr><td></td><td></td><td>
③理事会（4 回）
<table>
<tr><th>回数</th><th>開催月日</th><th>出席者・内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">第 1 回</td><td rowspan="2">5 月 26 日</td><td>理事 11 名、監事 2 名</td></tr>
<tr><td>議案 1 号～5 号</td></tr>
<tr><td rowspan="2">第 2 回</td><td rowspan="2">9 月 18 日</td><td>理事 11 名、監事 2 名</td></tr>
<tr><td>議案第 6 号~9 号</td></tr>
<tr><td rowspan="2">第 3 回</td><td rowspan="2">12 月 16 日</td><td>理事 11 名、監事 1 名</td></tr>
<tr><td>議案 10 号～11 号</td></tr>
<tr><td rowspan="2">第 4 回</td><td rowspan="2">3 月 16 日</td><td>理事 10 名、監事 2 名</td></tr>
<tr><td>議案 12 号～19 号</td></tr>
</table>
④　評議員会（4 回）
<table>
<tr><th>回数</th><th>開催月日</th><th>出席者・内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">定　時</td><td rowspan="2">6 月 16 日</td><td>評議員22 名、役員 3 名</td></tr>
<tr><td>議案 1 号～3 号</td></tr>
<tr><td rowspan="2">第 2 回</td><td rowspan="2">9 月 29 日</td><td>評議員20 名、役員 3 名</td></tr>
<tr><td>議案 4 号～5 号</td></tr>
<tr><td rowspan="2">第 3 回</td><td rowspan="2">12 月 25 日</td><td>評議員21 名、役員 3 名</td></tr>
<tr><td>議案 6 号</td></tr>
<tr><td rowspan="2">第 4 回</td><td rowspan="2">3 月 26 日</td><td>評議員20 名、役員 3 名</td></tr>
<tr><td>議案 7 号～11 号</td></tr>
</table>
⑤ 監査
<table>
<tr><th>回数</th><th>開催月日</th><th>内　　容</th></tr>
<tr><td>第 1 回</td><td>5 月 19 日</td><td>令和 1 年度決算監査</td></tr>
<tr><td>第 2 回</td><td>8 月 25 日</td><td>4 月～6 月分出納監査</td></tr>
<tr><td>第 3 回</td><td>11 月 27 日</td><td>7 月～9 月分出納監査</td></tr>
<tr><td>第 4 回</td><td>2 月 16 日</td><td>10月～12月分出納監査</td></tr>
</table>
⑥　定例課長・所長会議
毎月定例で開催し、経営及び事業実績の共通認識及び諸課題の協議を行った。また、新型コロナウイルスに関する臨時開催を 2 回開催した。
総開催数：14 回
</td></tr>
<tr><td>各種委員会の開催</td><td>各種委員会の開催
各種委員会を年間計画に基づき開催
①　経営・資金管理委員会
②　福祉の森管理委員会
③　ボランティア活動センター運営委員会
④　生活福祉資金貸付調査委員会
⑤　たすけあい更生資金貸付運営委員会
⑥　心配ごと相談所運営委員会
⑦　成年後見制度法人後見事業運営委員会
⑧　評議員選任・解任委員会
⑨　役員推薦委員会</td><td>
各種委員会の開催
<table>
<tr><th>名　　称</th><th>開催数</th></tr>
<tr><td>経営・資金管理委員会</td><td>2</td></tr>
<tr><td>福祉の森管理委員会</td><td>2</td></tr>
<tr><td>ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動ｾﾝﾀｰ運営委員会</td><td>0</td></tr>
<tr><td>生活福祉資金貸付調査委員会
たすけあい更生資金運営委員会</td><td>1</td></tr>
<tr><td>心配ごと相談所運営委員会</td><td>1</td></tr>
<tr><td>成年後見制度法人後見事業運営委員会</td><td>1</td></tr>
<tr><td>評議員選任・解任委員会</td><td>1</td></tr>
<tr><td>役員推薦委員会</td><td>1</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>事業名</th><th>事業計画（概要）</th><th>実　施　状　況</th></tr>
<tr><td colspan="3">（３）役職員研修会の開催</td></tr>
<tr><td>役員研修の開催</td><td>①　県社協主催等の役員セミナーへの参加</td><td>①　令和２年度は新型コロナ感染防止のため積極的な研修参加は実施せず。</td></tr>
<tr><td colspan="3">（４）各種計画の策定</td></tr>
<tr><td rowspan="2">各種計画の策定</td><td>①　地域福祉活動計画 2021（第４期）
令和３年４月１日～（５ヵ年間）</td><td>①　地域福祉活動計画 2021（第４期）の策定
令和３年４月１日～　５ヵ年間
ア　福祉の里との策定実務者会議　　４回
イ　社協職員策定コアメンバー会議　14 回
ウ　社協全体テーマ別ワーキング　　12 回</td></tr>
<tr><td>②　経営改善計画（第２期）
令和３年４月１日～（５ヵ年間）</td><td>②　中期経営計画 2021 の策定
令和３年４月１日～　５ヶ年間
市町村中期経営計画ガイドラインを基に策定
ア 策定委員会　　５回</td></tr>
<tr><td>計画の実践</td><td>③　次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主計画（第４期）
令和７年３月３１日まで （５ヵ年間）</td><td>③　仕事と子育てが両立できる雇用環境整備
ア　年次有給休暇（5 日以上）を計画的に取得することとした。取得率 98.8%
イ　毎週水曜日ノー残業デーとし、会議や研修を開催しないこと、定時で帰宅することを積極的に呼びかけた。
ウ　産休・育休取得職員　８名
育児短時間勤務職員　４名</td></tr>
<tr><td colspan="3">（５）総合福祉センターの管理運営</td></tr>
<tr><td>管理運営</td><td>①　遠野市補助金による管理運営
②　遊戯室屋根葺き替え工事
（遠野市補助金 15,730 千円）</td><td><table><tr><th></th><th>令和２年度</th><th>前年度対比</th></tr><tr><td>利用料収入</td><td>610,045 円</td><td>△983,801 円</td></tr><tr><td>利用者数</td><td>14,565 人</td><td>△11,037 人減</td></tr></table>新型コロナの予防対策を徹底しながら利用者確保に努めたが、展示会等の見合わせもあり利用の減少となった。</td></tr>
<tr><td colspan="3">（６）関係機関及び福祉団体等との連携</td></tr>
<tr><td>福祉版 CSV（共通価値の創造）に向けた他法人との連携</td><td>①　施設長懇談会の開催</td><td>①　施設長懇談会の開催はできなかった。
令和３年度に社会福祉法人等連絡会（仮称）の設立を計画している。</td></tr>
<tr><td>社協支部及び区長会、地区センターとの連携</td><td>①　社協会費の納入の協力

②　共同募金事業への協力</td><td>【実績】5,984 千円（8,549 世帯）
社協会費は、支部及び区長、班長、地区センターの協力のもと各世帯から納入いただいた。

共同募金は、10 月から 12 月まで赤い羽根募金運動、12 月に歳末たすけあい募金にそれぞれ協力をいただき共同募金委員会で取りまとめた。</td></tr>
</table>

事業名	事業計画（概要）	実　施　状　況
社協支部及び区長会、地区センターとの連携	①　支部運営費・地域福祉活動費の確保 ア　社協会費・共同募金配分による活動費助成 イ　一人暮らし高齢者交流事業 ②　本部・支部・地区センター等との連携強化・支部長等会議の開催	①　支部運営費・地域福祉活動費の確保 ア　社協会費・共同募金配分による活動費助成 【決算】4,073 千円　（単位：円） イ　一人暮らし高齢者交流会実績 【決算】445,500 円 コロナ禍のため通常の交流会以外に、それぞれの支部での柔軟な対応についても、昨年度実績額を上限に補助を行った。 ②　支部長・事務局長・地区センター所長会議の開催 ア　新型コロナ対策のため、例年６月に開催していた会議を中止し、８月末から各支部に出向き懇談会を実施した。

支部名	社協会費	共募	合計 交付額
遠　野	833,000	198,000	1,031,000
綾　織	200,600	67,000	267,600
小　友	163,100	114,000	277,100
附馬牛	164,900	103,000	267,900
松　崎	448,100	99,000	547,100
土　淵	233,000	100,000	333,000
青　笹	241,100	108,000	349,100
上　郷	300,500	57,000	357,500
宮　守	240,200	52,000	292,200
達曽部	153,200	30,000	183,200
鱒　沢	140,300	7,000	167,300
全体合計	3,118,000	955,000	4,073,000

支部名	実施日	参　加　者		
		R　2	R　1	前年対比
遠　野	区ごと	453 人	168 人	285 人
綾織	2/5	48 人	31 人	17 人
小　友	9/1～ 12/2 日	78 人	39 人	39 人
附馬牛	未実施	——	15 人	△15 人
松　崎	未実施	——	30 人	△30 人
土　淵	未実施	——	17 人	△17 人
青　笹	10/27	23 人	16 人	7 人
上　郷	未実施	——	47 人	△47 人
宮　守	未実施	——	22 人	△22 人
達曽部	11/7	56 人	26 人	30 人
鱒　沢	10/18	23 人	10 人	13 人
全　体　合　計		681 人	421 人	△260 人

支部名	実施日	参加者
遠　野	9 月 30 日	16 人
綾　織	11 月 5 日	18 人
小　友	11 月 19 日	15 人
附馬牛	9 月 11 日	12 人
松　崎	10 月 13 日	15 人
土　淵	9 月 7 日	16 人
青　笹	9 月 25 日	11 人
上　郷	8 月 26 日	14 人
宮守・達曽部（合同）	11 月 25 日	27 人
鱒　沢	9 月 4 日	9 人
全　体　合　計		153 人

事業名	事業計画（概要）	実　施　状　況
		イ　第１回　令和３年２月 26 日　15：30～ 会　場　遠野健康福祉の里　研修ホール 出席者　29 名（欠席 4 名） 内　容・社協会費・共同募金運動について ・令和３年度事業計画（素案） ・地域福祉活動計画（素案） ・中期経営計画（素案） ・各支部報告
福祉基金運用益による福祉活動の助成	【予算】7,717 千円 ①　社協事業への活用 ②　民間福祉団体への支援 ア　活動費助成 イ　組織活動及び研修等支援	【決算】7,738 千円 ①　社協事業・運営費への活用 ア　12 事業及び運営費　7,048 千円 ②　民間団体の支援 ア　活動助成　ボランティア 7 団体　690 千円
福祉バザーへの協力	【予算】140 千円 実行委員会で実施する福祉バザーへの協	①　バザー実行委員会開催　6/17　6/29 ②　従来の形でのバザーは見合わせることとし、会場を変更しフリーマケット方式を検討したが、参加希望団体が無く中止となった。
（７）社会福祉大会の開催		
第８回社会福祉大会の開催	社会福祉の増進に貢献された方々に敬意を表するとともに、社会福祉の一層の充実と発展を目指すことを目的に開催する。	第８回社会福祉大会 被表彰者 115 名（個人 101、団体 14） 今年度は新型コロナ対策を講じた大会のため、時間短縮・規模縮小の式典のみの開催とした。 開催日時：11 月 14 日（土）10 時から開催 会場：あえりあ遠野 当日の参加者 107 名（実行委員・社協職員・係員 46 名・来賓 3 名・被表彰者 58 名）

Ⅱ　地域福祉事業

１　市民の生活課題の解決

<table>
<tr><th>事業名</th><th>事　業 計　画（概　要）</th><th>実　施　状　況</th></tr>
<tr><td colspan="3">（１）生活課題を抱える住民の支援</td></tr>
<tr><td rowspan="2">相談支援関係</td><td>相談支援部門の内部体制の整備と相談職員の育成
福祉課題解決に向けた関係機関や地域住民との連携強化</td><td>地域福祉課に相談支援専門チームを配置し、構成員は地区を担当し関係機関や地域住民との連携に努めた。相談総括主幹を新たに配置
＜チーム構成＞
自立生活相談支援員　３名
丸ごと相談員　３名
在宅介護支援センター相談員　３名
生活福祉資金貸付相談員　１名
成年後見センター専門員　１名
地域福祉課主事　２名</td></tr>
<tr><td>①　遠野市多機関の協働による包括的相談支援体制構築事業
（遠野市受託事業）
【予算】15,648 千円
ア　丸ごと相談員３名を配置
（綾織、土淵、青笹各地区センター）

イ　断らない相談支援の継続

ウ　社会参加、地域づくりに向けた支援
（ア）住民支え合いマップづくり
（イ）小地域懇談会の開催</td><td>①　遠野市多機関の協働による包括的相談支援体制構築事業

【決算】14,964 千円
ア　綾織、土淵、青笹の各地区センターに「丸ごと相談員」を１名配置し、個別の相談支援を基に地域関係者や関係機関との連携体制の構築に取組んだ。
イ　相談活動
【新規相談実績】（延件数）
<table>
<tr><th></th><th>R1 年度</th><th>R2 年度</th><th>前年対比</th></tr>
<tr><td>介護</td><td>376（33.4%）</td><td>606（38.3%）</td><td>230</td></tr>
<tr><td>障がい</td><td>86（7.6%）</td><td>129（8.2%）</td><td>43</td></tr>
<tr><td>子育て</td><td>4（0.3%）</td><td>12（0.8%）</td><td>8</td></tr>
<tr><td>困窮</td><td>151（13.4%）</td><td>114（7.2%）</td><td>△37</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>510（45.3%）</td><td>721（45.5%）</td><td>211</td></tr>
<tr><td>総数</td><td>1,127</td><td>1,582</td><td>455</td></tr>
</table>
【連携先】（延件数）
<table>
<tr><td>近隣住民
495 回
（12.3%）</td><td>民生委員
442 回
（11.0%）</td><td>在介・SC
369 回
（9.2%）</td><td>地区ｾﾝﾀｰ
266 回
（6.6%）</td></tr>
<tr><td>包括ｾﾝﾀｰ
224 回
（5.6%）</td><td>ｹｱﾏﾈｼﾞｬｰ
178 回
（4.4%）</td><td>社協・自治会
167 回
（4.2%）</td><td>区長
158 回
（3.9%）</td></tr>
<tr><td>困窮窓口
152 回
（3.8%）</td><td>市社協
102 回
（2.5%）</td><td>家族以外の親族
91 回
（2.3%）</td><td>障がい福祉係
82 回
（2.0%□</td></tr>
<tr><td colspan="4">【その他の連携先】高齢サービス事業所、学校関係者、市生活福祉係、市保健推進係、医療機関、警察、他</td></tr>
</table>
ウ　社会参加、地域づくりに向けた支援
〈綾　織〉刈払いﾎﾞﾗﾝﾃｨｱの立上げ支援　他
〈土　淵〉高齢者等見守り体制構築事業調査後の防災に関する活動啓発（「私のことｶｰﾄﾞ」の導入、独居高齢者への見守り訪問を兼ねた防災ｸﾞｯｽﾞ配布等）他
〈青　笹〉住民による刈払い・除雪の支援　他
〈その他〉新任民生委員地区での支えあいﾏｯﾌﾟづくり／町内福祉関係者会議／ほうきづくり講座／小地域個別ケア会議</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td></td><td>学校支援ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱﾏｯﾁﾝｸﾞ／民生委員に対する学習会／地域運営組織等における話し合いの場への参画・ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾄ</td></tr>
<tr><td></td><td>② 生活困窮者自立促進支援事業
（遠野市受託事業）
【予算】14,580 千円
ア 専任の相談支援員 3 名を配置
（遠野健康福祉の里内）
イ 生活困窮者や困窮に陥る恐れのある人等を対象とした包括的な相談支援の実施

（ア）【目標値】
・新規相談件数 50 件
・支援対象者 2,000 件
・自立プラン作成数 20 件
・家計プラン作成数 5 件
・就労支援対象者数 15 件
・就労、増収者数 10 件
・フリースペース利用 延 50 件

（イ） 制度の狭間の課題に対する支援強化のための資源づくり（居場所・仕事等）

（ウ）関係機関等ネットワークづくり</td><td>② 生活困窮者自立促進支援事業

【決算】14,423 千円
ア 専任の相談支援員 3 名を健康福祉の里に配置

イ 生活困窮者や困窮に陥る恐れのある人等を対象とし、関係機関や関連事業との連携を含めた支援を包括的に実施

（ア） 相談支援実績 単位：件
<table><tr><td></td><td>R1 実績</td><td>R2 目標</td><td>R2 実績</td><td>前年対比</td></tr><tr><td>新規</td><td>63</td><td>50</td><td>49</td><td>△14</td></tr><tr><td>継続</td><td>1,051</td><td>2,000</td><td>1,091</td><td>40</td></tr><tr><td>ﾌﾟﾗﾝ作成</td><td>19</td><td>25</td><td>13</td><td>△6</td></tr><tr><td>ﾌﾟﾗﾝ終結</td><td>2</td><td>－</td><td>33</td><td>31</td></tr><tr><td>連携対応</td><td>1,007</td><td>－</td><td>1,000</td><td>△7</td></tr></table>
（イ）
ⅰ居場所づくり
ひきこもり若者等の支援のためちょボラ内に「フリースペースふらっと」を開設
開設回数 50 回
利用者数 延 160 名
（利用者 9 名、家族等 2 名）

ⅱ仕事（無料職業紹介事業）
求人者（団体等） 6 件
求職者 22 件
マッチング 22 件

（ウ）
ⅰIWATE あんしんサポート支援事業
支援件数 2 件（ともり会、松寿会）

ⅱ生活困窮者食料支援事業
NPO 法人フードバンク岩手、こども政策課、保育協会等と連携し困窮者への食糧支援を実施した。
支援世帯 9 世帯
支援回数 9 回
フードドライブ（寄付受付）
ⅲフードバンク岩手こども応援プロジェクト
申請書配布 71 件（夏 33 件、冬 38 件）
申請件数 31 件（夏 15 件、冬 16 件）</td></tr>
</table>

③　心配ごと相談所の運営（自主事業）

市民の困りごとや悩みを受け止め、問題解決に向け専門機関と連携

【予算】240 千円

ア　専任相談員の配置

（ア）遠野地区

月 2 回（第 1・第 3 金曜日）

（イ）宮守地区

月 1 回（第 3 水曜日）

イ　弁護士による無料相談

（ア）遠野地区　奇数月の第 3 金曜日

（イ）宮守地区　偶数月の第 3 水曜日

ウ　職員による相談受付　随時

③　心配ごと相談所の運営

【決算】236 千円

ア　相談実績

	R1 年度	R2 年度
開設日数	36 日	36 日
相談件数 （弁護士）	64 件 （弁護士 42 件）	113 件 （弁護士 30 件）
相談内容	生計　3 職業　3 住宅　1 家族　5 離婚　3 精神衛生　1 人権・法律　3 財産　24 事故　3 心身障がい　2 老人福祉　1 その他　15	生計　1 職業　2 住宅　1 家族　13 離婚　1 精神衛生　1 財産　19 心身障がい　1 老人福祉　1 医療　1 苦情　1 その他　71

イ　心配ごと相談所運営委員会の開催

第 1 回運営委員会

実施日　令和 3 年 3 月 18 日

内　容

・令和 2 年度相談実績（見込）

・令和 3 年度運営方針について

④　在宅介護支援センター運営事業（市受託事業）

在宅介護支援センター小友・綾織、附馬牛・土淵、上郷・青笹の 3 ヶ所に各 1 名の相談員を配置

【予算】8,325 千円

実態把握調査　　200 件以上/年

ア　相談員　3 名配置（3 か所）

在宅介護支援センター小友・綾織

在宅介護支援センター附馬牛・土淵

在宅介護支援センター上郷・青笹

イ　要援護高齢者等及び家族の実態把握

ウ　在宅介護に関する各種相談対応

地域包括支援センターを中心に関係機関との連携を図りながら、介護に関する総合的な相談や高齢者等の実態把握や各地域で開催されるサロン等へ参加し講話や啓発活動を実施した。

丸ごと相談員と連携し、高齢者を含めた世帯等の相談対応を行った。

【決算】8,325 千円（持出し 658 千円）

ア・イ・ウ

在宅介護支援センター小友・綾織

	R1 年度	R2 年度
ケース台帳整備数	542 件 小友　192 件 綾織　198 件 鱒沢　152 件	530 件 小友　177 件 綾織　208 件 鱒沢　145 件
実態把握調査	230 件 小友　79 件 綾織　84 件 鱒沢　67 件	214 件 小友　74 件 綾織　92 件 鱒沢　48 件
サービス調整	23 件 生きがい 14 件 ｹｰｽ検討　9 件	10 件 生きがい 3 件 緊急通報 1 件 軽度生活 1 件 ｹｰｽ検討　5 件

<table>
<tr>
<td></td>
<td>エ　地区センターへのモデル的配置検討</td>
<td>
在宅介護支援センター附馬牛・土淵
<table>
<tr><th></th><th>R1 年度</th><th>R2 年度</th></tr>
<tr><td>ケース台帳整備数</td><td>588 件
附馬牛 231 件
土淵　357 件</td><td>571 件
附馬牛 244 件
土淵　326 件
松崎　1 件</td></tr>
<tr><td>実態把握調査</td><td>204 件
附馬牛 100 件
土淵　104 件</td><td>200 件
附馬牛 104 件
土淵　95 件
松崎　1 件</td></tr>
<tr><td>サービス調整</td><td>13 件
生きがい 6 件
介護ｻｰﾋﾞｽ
7 件</td><td>12 件
生きがい 3 件
食の自立 2 件
緊急通報 1 件
介護ｻｰﾋﾞｽ
6 件</td></tr>
</table>
在宅介護支援センター上郷・青笹
<table>
<tr><th></th><th>R1 年度</th><th>R2 年度</th></tr>
<tr><td>ケース台帳整備数</td><td>550 件
上郷　313 件
青笹　236 件
土淵　1 件</td><td>550 件
上郷　313 件
青笹　236 件
土淵　1 件</td></tr>
<tr><td>実態把握調査</td><td>200 件
上郷　130 件
青笹　70 件</td><td>200 件
上郷　128 件
青笹　72 件</td></tr>
<tr><td>サービス調整</td><td>33 件
ｹｰｽ検討　3 件
小地域ｹｱ会議
3 件
地域支援事業
27 件</td><td>13 件
生きがい 4 件
食の自立 1 件
緊急通報 1 件
ｹｰｽ検討会・小地域ｹｱ会議
7 件</td></tr>
</table>
エ　令和 3 年度は、4 地区センター（遠野・小友・附馬牛・上郷）に職員配置となる。
</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>⑤　生活支援コーディネーター事業
（市受託事業）
【予算】2,914 千円

ア　各在宅介護支援センターに生活支援コーディネーターを配置（兼務）

イ　高齢者の生活支援等サービスの体制を推進
（ア）　地域資源の開発
（イ）　ネットワークの構築
（ウ）　ニーズと取組みのマッチング
（エ）　とおの型の「集いの場」の提案、設置の模索</td>
<td>地域ケア会議等で地域課題の抽出と共有を図った。
【決算】2,800 千円

ア　各地区ごと独自開催の支援調整会議等に出席し、関係団体・組織間での情報共有・提供による課題抽出に対し課題解決に向け支援実行した。

イ　新たに資源を開発し、現況での体制にある各種団体・組織間での地域ニーズに即した問題解決に取り組んだ。
学校・企業へ認知症サポーター養成講座を 11 回開催し 181 名の参加者があった。</td>
</tr>
</table>

<table>
<tr>
<td>資金貸付関係</td>
<td>資金貸付事業
低所得者、障がい者及び高齢者に対し生活に必要な資金貸付と相談支援の実施
① 生活福祉資金貸付事業
（岩手県社協受託事業）
【予算】3,320 千円

② たすけあい更生資金貸付事業
（自主事業）
【予算】 300 千円</td>
<td>① 生活福祉資金貸付事業
（岩手県社協受託事業）

【決算】 3,125 千円
（ア） 貸付相談
<table>
<tr><th>年度</th><th>実人数</th><th>延件数</th><th>貸付件数</th></tr>
<tr><td>R2</td><td>124 名</td><td>432 件</td><td>71 件</td></tr>
<tr><td>R1</td><td>41 名</td><td>237 件</td><td>17 件</td></tr>
</table>
貸付実績 71 件 貸付総額 34,506 千円

（イ） 資金種類別実績
㋐ 〔総合支援資金〕
<table>
<tr><th>年度</th><th>件数</th><th>貸付金額</th></tr>
<tr><td>R2</td><td>10 件</td><td>4,550 千円</td></tr>
<tr><td>R1</td><td>0 件</td><td>0 千円</td></tr>
</table>
実人数 7 人
㋑ 〔緊急小口資金〕
<table>
<tr><th>年度</th><th>件数</th><th>貸付金額</th></tr>
<tr><td>R2</td><td>50 件</td><td>9,150 千円</td></tr>
<tr><td>R1</td><td>2 件</td><td>150 千円</td></tr>
</table>
実人数 47 人
※総合支援資金と緊急小口資金の 60 件は全てコロナ特例貸付（実人数 47 人：休業 33 人・失業 14 人、自営業 21 人・会社員/パート 26 人）
㋒〔福祉費〕
<table>
<tr><th>年度</th><th>件数</th><th>貸付金額</th></tr>
<tr><td>R2</td><td>2 件</td><td>926 千円</td></tr>
<tr><td>R1</td><td>4 件</td><td>4,820 千円</td></tr>
</table>
住宅設備費 1 件 障害者用自動車購入費 1 件
㋓ 〔教育支援資金〕
<table>
<tr><th>年度</th><th>件数</th><th>貸付金額</th></tr>
<tr><td>R2</td><td>9 件</td><td>19,880 千円</td></tr>
<tr><td>R1</td><td>11 件</td><td>17,925 千円</td></tr>
</table>
高校 1 件 専門学校 4 件 短・大学 4 件

※新型コロナウイルス感染症の影響による減収等に対応した特例貸付が行われ、相談、貸付件数が増加した。

（ウ） 債権管理実績
<table>
<tr><th>年度</th><th>延□数</th><th>うち督促</th><th>償還完□件数</th></tr>
<tr><td>R2</td><td>180 件</td><td>74 件</td><td>18 件</td></tr>
<tr><td>R1</td><td>257 件</td><td>176 件</td><td>19 件</td></tr>
</table>
（エ） 滞納世帯への償還指導
県社協と連携した償還面接指導は新型コロナの感染防止と特例貸付に対応するため中止。

② たすけあい更生資金貸付事業

【決算】 80 千円</td>
</tr>
</table>

ア　専任相談員１名の配置

（ア）　相談受付と関係機関との連携

（イ）　滞納世帯への償還面接指導

（ウ）　償還遅延・滞納世帯への指導

イ　生活福祉資金貸付運営委員会・たすけあい更生資金貸付運営委員会開催（適宜）

ウ　たすけあい更生資金貸付事業の貸付要件見直し検討

ア　専任相談員１名の配置

（ア）　相談・貸付実績

年度	実人数	貸付件数	貸付金額
R2	11 名	2 件	80 千円
R1	15 名	4 件	200 千円

（イ）　債権管理実績

年度	延件数	うち督促	償還完了件数
R2	68 件	42 件	5 件
R1	98 件	68 件	9 件

（ウ）　償還実績

年度	償還金額	年度末貸付残	
		件数	金額
R2	184 千円	11 件	388 千円
R1	317 千円	14 件	492 千円

イ　生活福祉資金・たすけあい更生資金貸付運営委員会の開催
第１回　令和２年 10 月 23 日

ウ　連帯保証人の要件について、貸付金額によっては保証人を不要にするなど要件の緩和の検討を予定していたが、事業における欠損リスクについて充分に考慮できず、準備不足のため中止した。

（２）権利擁護と福祉サービスの利用支援

権利擁護関係

①　釜石・遠野地域成年後見センター遠野サテライトの運営
【予算】4, 505 千円
ア　専任職員１名の配置

①　釜石・遠野地域成年後見センター遠野サテライトの運営
【決算】4,388 千円
ア　専任職員１名の配置
専任職員を配置し、来所、電話、訪問等相談対応を実施。

（ア）　相談対応件数（延べ）

	R1	□R2□
電話	2 件	10 件
来所	4 件	21 件
訪問	2 件	11 件
関係機関等	11 件	30 件
ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ	－	5 件
その他	0 件	0 件
計	19 件	77 件

（イ）　相談内容（重複あり）

	R1	R2
成年後見制度	6 件	40 件
財産管理	4 件	21 件
身上保護	3 件	12 件
相続	1 件	6 件
後見人等の業務	－	0 件
権利侵害	－	2 件
情報共有	－	26 件
その他	3 件	3 件
計	17 件	110 件

（ウ）　相談経路（重複あり）

	R1	R2
本人	3 件	13 件
親族	5 件	23 件
住民	－	0 件
行政	3 件	18 件
社協	2 件	2 件
福祉関係	－	10 件
医療関係	－	8 件
司法関係	－	4 件
後見人等	－	0 件
その他	1 件	5 件
計	14 件	83 件

イ　制度の周知

イ　制度の周知

（ア）　普及啓発活動

成年後見ネットワーク会議を開催し制度の周知や啓発活動を行う。（全２回）

㋐　令和２年度第１回ネットワーク会議

日時：7 月 16 日、7 月 28 日　13：30

会場：遠野健康福祉の里　研修ホール

大槌町役場大会議室

※第１回ネットワーク会議については、コロナウイルス感染症蔓延防止の為、遠野地区と釜石・大槌地区の２回に分けて開催。

㋑　令和２年度第２回ネットワーク会議

日時：11 月 12 日　13：30～

会場：遠野健康福祉の里研修ホール

（イ）　他事業との連携により当事者や関係者等に対し周知活動を実施。

ウ　市民後見人の育成

ウ　市民後見人の育成

第１回釜石･遠野地域成年後見センター市民後見人養成講座実施

・場所：釜石情報交流センターPIT

・期間：令和２年９月４日～10 月 13 日

・受講者：19 名（釜石市９名、大槌町４名、遠野市６名）。

・市民後見人登録者：14 名（釜石市８名、大槌町１名、遠野市５名）

	②　成年後見制度法人後見事業 （自主事業） 認知症や精神障がい、知的障がいなど判断能力が困難な人の財産管理、身上監護 ア　新規相談対応 イ　受任事務の実施 （ア）面接による本人状態確認 （イ）財産管理 （ウ）家庭裁判所との連携と定期報告 （エ）運営委員会の開催	②　成年後見制度法人後見事業 ア　新規相談対応 当事者家族、行政、支援関係者等から相談受付、対応。 イ　受任事務の実施 ・保佐類型２名、後見類型２名、計４名を受任中。 ・新規受任者：３名 後見類型２名（内、１名は終了） 保佐類型１名 （ア）面接による本人状態確認 ・月 1 回以上を目途に本人等と面談し状態確認を実施。 ・本人の状態に応じてサービス利用の相談、申請を行う。 （イ）財産管理 ・月１回以上通帳記帳を行い、収支状況の確認を行う。 ・財産確保に必要な制度申請等を行う。 （ウ）家庭裁判所との連携、定期報告。 ・適宜家庭裁判所と情報共有を行い支援を実施。 ・就職、終了、定期報告書の提出。 ・報酬付与の申立 （エ）運営委員会の開催 実施日：令和２年９月 24 日 報告、協議内容 ・法人後見事業受任、受付状況について ・保佐事務に関する報告について ・報酬付与申立について ・法人後見事業生活支援員の委嘱について 参加者　委員６名　事務局３名
	③ 日常生活自立支援事業 （釜石基幹社協への協力） 福祉サービスの利用手続きの　援助や代行、日常的金銭管理などを釜石基幹社協と連携し実施 ア　相談対応	③　日常生活自立支援事業 （釜石基幹社協への協力） ・生活支援員の配置　　３名 ・利用者の増加に伴い、生活支援員１名の推薦 ア　相談対応 （ア）相談受付件数：13 件 （高齢者：10 名、障がい者３名） （イ）新規契約件数：10 件 （高齢者：７名、障がい者：３名） （ウ）廃止件数：３件 （高齢者：２名、障がい者：１名） 廃止事由：施設入所、成年後見制度移行に伴う。

<table>
<tr><td rowspan="2"></td><td>イ　利用者支援の実施</td><td>〈契約状況〉
<table><tr><th rowspan="2">年度</th><th rowspan="2">契約者数</th><th colspan="2">内訳</th></tr><tr><th>障がい</th><th>高齢</th></tr><tr><td>R2</td><td>21 件</td><td>5 件</td><td>16 件</td></tr><tr><td>R1</td><td>14 件</td><td>3 件</td><td>11 件</td></tr><tr><td>H30</td><td>14 件</td><td>3 件</td><td>11 件</td></tr><tr><td>H29</td><td>11 件</td><td>3 件</td><td>8 件</td></tr></table>イ　利用者支援の実施
（ア）新型コロナウイルス感染症対策として、生活支援員の代替支援ができるよう、社協職員４名の生活支援員登録を行う。
（イ）基幹社協専門員、生活支援員、支援関係者等と連携し支援を実施。</td></tr>
<tr><td>④ 障がい者不利益取扱い相談窓口設置運営事業
地域福祉課に相談窓口を設置</td><td>④　岩手県から受託し「障がい者不利益取扱い相談窓口」を設置運営
ア　相談実績　0 件</td></tr>
<tr><td colspan="3">（３）民生児童委員との連携</td></tr>
<tr><td>民生児童委員活動との連携</td><td>①　民生委員と連携を強化し地域福祉を推進
ア　会長・副会長連絡会への参加
イ　地区民協定例会への参加
ウ　広域社協事業（研修会等）の実施</td><td>ア　会長･副会長連絡会に参加し情報共有を図った。
イ　地区担当職員が地区民協定例会に参加し情報共有に努めた。
ウ　コロナ禍により研修会の開催ができず､内藤いづみ医師の冊子（2020 年､今を生きる｡2021 年を生きていく！）を配付し、感想をとりまとめ内藤先生に送付した。</td></tr>
<tr><td colspan="3">（４）災害支援と防災への取組み</td></tr>
<tr><td>指定避難所の運営</td><td>①　遠野市との協定に基づき、要請により指定福祉施設を開設</td><td>令和２年度は開設要請なし。</td></tr>
<tr><td>災害ボランティア活動の推進</td><td>災害発生時に迅速に対応できる内部体制の整備と、大規模災害発災に備えた広域での連携体制の確立
ア　災害ボランティアセンター開設運営
イ　災害時相互協定に基づく相互支援の実施（県内広域社協・大口町社協）
ウ　必要物品・資機材の計画的整備</td><td>ア　災害発生が無く実際の開設実績なし。
岩手県社協主催
（ア）「花巻・遠野広域ネットワーク連絡会議」
10 月 27 日（火）東和総合福祉センター
参加者（遠野市）
遠野社協３名　民生委員１名　ボラ連１名
消防本部１名
（イ）11 月 26 日予定していた設置運営訓練は、県内の新型コロナ染症拡大のため中止。
イ　地震発生時等に互いの被害状況等について確認し合う。
ウ　災害ボランティアセンター運営に必要な物品機材を整備。ノートパソコン、ビブス、コンテナ等を購入。</td></tr>
</table>

（５）福祉課題の調査研究

農福連携の調査研究	地域共生社会「福祉でとおのづくり」の実現にむけた農業と福祉の連携 【予算】100 千円 ア　就労や就労体験の場拡大 （ア）無料職業紹介事業（最低賃金確保） （イ）農作業体験（有償ボランティア） イ　ふれあい農園の継続 （ア）ボランティア募集と連携 （イ）収穫物の有効活用 ウ　ほうき草栽培と「マイほうき作り講座」の実施	【決算】40 千円 ア （ア）求人農家　6 件　　就労実績　延べ 22 人 （イ）農業体験（ほうき草栽培、ひまわりプロジェクト）　実績　延べ 6 人 イ　ふれあい農園の継続 （ア）種植え、収穫等の際にその都度ボランティアを募集。地域のボランティア、地域活動支援センターの利用者のほか、不登校者の親の会「たんぽぽ会」の団体とも連携。 （イ）ひまわりの種の収穫等、作業工程で地域のボランティア等を通じて、地域交流を図った。 ウ　ほうき草栽培と「マイほうき作り講座」の実施 「マイほうき作り講座」 実施日　12 月 3 日（事前準備）、 12 月 10 日、12 月 12 日　12 名 小友町：鷹鳥屋いきいきサロン 12 月 21 日　8 名 土淵町：3 月 10 日　10 名
高齢者等見守り体制構築事業	高齢者等見守り体制構築事業 〔市受託事業〕 新型コロナウイルス感染症対策により外出を自粛している７５歳以上の高齢者世帯、重度障がい者等に対し、新型コロナウイルスが生活に与えた影響を調査し、併せて災害時避難行動個別計画の作成調査の実施。	区長及び民生児童委員の協力を頂き、令和 2 年 10 月から令和 3 年 3 月末までに完了。 法人職員 81 名が調査に従事した。 ①　地域支え合い体制に係る基礎調査（災害時避難行動個別計画作成） 調査依頼者数　3,916 名 調査完了者数（追加調査含む）　3,938 名 避難行動要支援者名簿登載同意数　2,870 名 ②　新型コロナが生活に与えた影響調査 調査依頼者数　3,916 名 回答者数　2,399 名
日常生活用具貸与事業	要援護高齢者及び障がい者、生活困窮者等の日常生活の便宜を図かるため日常生活用具を貸与　　【予算】40 千円 ア　チャイルドシートの貸出廃止の検討 イ　車椅子貸出 ウ　生活困窮世帯等への貸出用具購入	【決算】0 円 ア　R2 年度　貸出件数　11 件（内、複数回利用 1 世帯） 新型コロナによる自粛のためか貸出は上記件数に留まった。今後の利用状況等を検証し、事業の見直しを検討する。 イ　R2 年度　32 件（前年度比　10 件減） ウ　自立支援窓口と貸し出しに必要な物品について検討。今年度の物品購入はなし。

2　市民の福祉活動の振興

<table>
<tr><th>事業名</th><th>事業計画（概要）</th><th>実　施　状　況</th></tr>
<tr><td colspan="3">（1）ボランティア活動の推進と拠点の充実</td></tr>
<tr><td>ボランティア活動の推進と拠点の充実</td><td>①　ボランティア活動センター
ボランティアニーズの把握やマッチング、福祉教育や必要とされるボランティア育成等の実施
ア　ボランティアニーズのマッチング
イ　福祉教育（ボランティア体験塾・キャップハンディ体験の実施）</td><td>ア　ボランティア活動センターでニーズを集約する機能について検討中。個人・団体ボランティアの得意を生かしたマッチングの実施に向けて整備を進めている段階。
イ①キャップ・ハンディ体験学習実績
<table>
<tr><th>月日</th><th>対象者</th><th>内容</th><th>人数</th></tr>
<tr><td>9/30</td><td rowspan="2">宮守小学校4年生</td><td>車いす体験</td><td rowspan="2">18名</td></tr>
<tr><td>11/4</td><td>白杖体</td></tr>
<tr><td>2/26</td><td>遠野西中学校</td><td>①高齢者疑似体験
②白杖体験</td><td>38名</td></tr>
<tr><td colspan="3">合計</td><td>56名</td></tr>
</table>
②　24時間TVチャリティー募金活動
コロナ禍により、規模を縮小して実施。
実施日　令和2年8月23日
参加者　ちょボラスタッフ5名
実績額　177,863円</td></tr>
<tr><td></td><td>ウ　生活支援コーディネーター等との連携による地域課題の把握と資源開発</td><td>ウ　地域で活動する相談員との連携方法について検討中。ニーズとのマッチングを見越した連携の在り方検討を実施。</td></tr>
<tr><td></td><td>エ　ボランティア育成講座の開催</td><td>エ　ボランティア育成講座の開催
手話に触れよう
実施日　1/9, 1/16,1/23,1/30（全4回）
受講者　7名
講　師　菊池直子氏、ろうあ者盲ろう者相談員
協　力　手話サークルどんぐり</td></tr>
<tr><td></td><td>オ　ボラ連絡協議会運営支援</td><td>オ　ボランティア連絡協議会事務局会計などの事務補助や助成金案内を行った。</td></tr>
<tr><td></td><td>カ　ボラ個人・団体の活動支援</td><td>カ　ボランティア個人・団体への支援
（ア）各種助成等の周知と申請支援
みずほ教育福祉財団　1団体
助成金総額　100,000円
（イ）ボランティア保険の加入促進</td></tr>
<tr><td></td><td>②　市民交流サロン「ちょボラ」の運営
地域における生活困窮者支援等のための共助の基盤づくり事業（国庫補助事業を活用）
【予算】5,702千円
ア　会議室・展示コーナー・事務機器の貸出
イ　交流サロンとしての活用
ウ　若者フリースペースの実施</td><td>【決算】5,494千円
ア　会議室・展示コーナー・事務機器の貸出
イ　交流サロンとしての活用
<table>
<tr><th>年度</th><th>PC利用</th><th>会議室</th><th>展示</th><th>来館者</th></tr>
<tr><td>R2</td><td>59人</td><td>648人</td><td>6件</td><td>1,550人</td></tr>
<tr><td>R1</td><td>155人</td><td>1,139人</td><td>14件</td><td>1,834人</td></tr>
<tr><td>H30</td><td>155人</td><td>1,538人</td><td>11件</td><td>1,666人</td></tr>
</table>
ウ　若者フリースペースの実施
毎週月曜日（R2.9月から祝日も開所）
10時～12時、13時～15時　隔週開催
全　50回　延べ160名参加</td></tr>
</table>

	エ　コミュニティ食堂 オ　被災者の居場所づくり カ　「ちょボラ」のあり方についての見直し検討	エ　新型コロナ感染症拡大防止を考慮し、実施を見合わせた。 オ　交流の機会である「大槌会」の開催場所として喫茶カムカムを利用いただいていたが、会の開催自体が新型コロナウィルス感染症予防のため見合わせとなった。 カ　「ちょボラ」機能の事業評価のもと職員ワーキング等で検討し、小さな拠点での地域の課題解決に向けてはボラセン機能を本部に移行し、地区に配置する「まるごと相談員」とボラセン職員が各関係機関との連携を密にしながら、ボランティアの育成及び小さな拠点がプラットホーム機能として確立できるよう支援体制を整備する方向とした。
（２）情報発信の強化		
情報発信	①　福祉の話題、諸事業等の情報を広く市民に提供 ア　福祉だよりの発行 イ　ホームページの運営	ア　福祉だよりの発行 年６回、計画通りに発行した。 イ　ホームページの管理運営（随時） ホームページの大幅なリニューアルを行い、パソコン媒体だけではなく、携帯端末からも閲覧できるようにしたことで、若い世代の閲覧も容易になった。 福祉だよりの発行等に合わせてホームページを更新するほか、最新の情報を掲載し、福祉の話題提供を行った。
（３）高齢者福祉の向上		
生きがい活動支援通所事業【通称：サテライト事業】 （市受託事業）	【予算】25,120 千円 ①　高齢者の生きがい支援、社会参加の促進による、社会的孤立感の解消、自立支援の助長及び要支援や要介護状態への予防。	【決算】23,508 円 60 歳以上の自立高齢者に対し、生きがいと社会参加を促進し社会的孤立の解消、自立生活の助長及び要支援や要介護状態になることの予防を図ることを目的に実施。 市内コミュニティセンター等の計 22 会場で感染予防を徹底した上で開催。 なお、緊急事態宣言発令や市内感染者発生に伴い、計 38 日間活動を休止した。休止期間は利用者宅を訪問し、体調確認等を実施。 延利用者件数 3，997 名（元年度 5,160 名） サテライト事業から「集いの場」への融和の模索検討を試みる予定であったが、新型コロナの影響で進展できなかった。

<table>
<tr>
<td rowspan="2">高齢者等の生活支援事業
（市受託事業・自主事業）</td>
<td>【予算】9,783 千円
① 配食サービス事業
ア 「食」の自立支援（市受託）
イ 在宅支援食事サービス事業（自主）</td>
<td>【決算】9,906 円
① 配食サービス事業
調理・宅配ボランティアグループ「ほのぼの会」、東北電力「げんき会」、個人ボランティアの協力により事業を実施。
また、新型コロナ対策として、活動前の検温、消毒の徹底、マスク着用の対策を行い、事業を休止せず継続した。
<table>
<tr><td colspan="2">ア「食」の自立支援事業【市受託事業】</td><td colspan="2">イ 在宅支援食事サービス事業【自主事業】</td></tr>
<tr><td>R2 年度
配食数
（延べ）</td><td>3,611
食</td><td>R2 年度
配食数
（延べ）</td><td>972 食</td></tr>
<tr><td>R1 年度
配食数
（延べ）</td><td>3,153
食</td><td>R1 年度
配食数
（延べ）</td><td>1,003 食</td></tr>
</table>
</td>
</tr>
<tr>
<td>【予算】6,352 千円
② 福祉有償運送事業
ア 外出支援サービス（市受託）
イ 移送サービス（自主）
ウ 利用料金の改正</td>
<td>【決算】6,215 千円
② 福祉有償運送事業
歩行等が困難で一般交通機関を利用することが困難な方を対象に、リフト付きワゴン車等 3 台（普通乗用車 2 台、軽乗用車 1 台）を使用し、運転手 4 名で対応。
新型コロナ対策として、乗車前検温、徹底した車内消毒、運転席と後部座席を間仕切りパネル設置による感染防止対策を実施。また、遠野市経済対策タクシー券助成の適用など利用促進に努めた。
なお、4 月 1 日から料金の引き上げ改定を実施した。
<table>
<tr><td colspan="2">ア 外出支援サービス事業
【市受託事業】</td><td colspan="2">イ 移送サービス事業
【自主事業】</td></tr>
<tr><td>R2 年度利用
延べ人数</td><td>354 名</td><td>R2 年度利用
延べ人数</td><td>706 名</td></tr>
<tr><td>（市内対応）</td><td>354 名</td><td>（市内対応）</td><td>580 名</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>（市外対応）</td><td>126 名</td></tr>
<tr><td>R1 年度利用
延べ人数</td><td>475 名</td><td>R1 年度利用
延べ人数</td><td>860 名</td></tr>
<tr><td>（市内対応）</td><td>475 名</td><td>（市内対応）</td><td>723 名</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>（市外対応）</td><td>137 名</td></tr>
</table>
</td>
</tr>
<tr>
<td>家族介護者支援対策事業</td>
<td>【予算】280 千円
① 家族介護者教室開催事業（市受託）

【予算】540 千円
② 家族介護者交流事業（市受託）</td>
<td>【決算】33 千円
① 家族介護者教室開催事業
ア 認知症家族等介護者交流会
日時：令和 2 年 6 月 17 日 他 7 回開催
参加者：延べ 81 名
【決算】0 円
② 家族介護者交流事業
新型コロナのため中止</td>
</tr>
<tr>
<td>ふれあい・いきいきサロン支援助成事業（市補助・共同募金配分事業）</td>
<td>① 高齢者の閉じこもり防止、介護予防、交流の場としてそれぞれの地域で開催するふれあいいきいきサロンを支援
【予算】2,623 千円
ア サロン運営の活動費助成</td>
<td>【決算】2,348 千円
ア サロン運営の活動費助成
（ア）助成団体 29 団体</td>
</tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td>イ　支部社協実施４地区（遠野・綾織・土淵・青笹）の利用者送迎支援実施

ウ　笛吹の園（青笹）へ調理員派遣
エ　サロンへの運動指導員派遣

オ　サロン交流会の開催

カ　新規サロン立上げ支援
キ　総合事業「集いの場」への移行検討</td><td>（イ）助成総額　　2,160 千円
（ウ）活動実績
<table><tr><th>年度</th><th>参加者</th><th>ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ数</th><th>合計</th></tr><tr><td>R2</td><td>3,078</td><td>854</td><td>3,932</td></tr><tr><td>R1</td><td>6,009</td><td>2,428</td><td>8,437</td></tr></table>イ　利用者送迎支援
コロナの影響によりサロン活動の機会が減少したが、開設時には送迎を実施。
ウ　笛吹の園の解散に伴い実施なし
エ　運動支援員（施設管理サービス）の派遣
実績　　10 回
オ　交流会は開催できなかったが、感染症予防対策としての講座を４回に分けて実施した。
カ　新規サロン立ち上げ　なし
キ　移行にあたっての「集いの場」の共通認識や進捗を図る場を設けられなかった。</td></tr>
<tr><td colspan="3">（４）障がい者福祉の充実</td></tr>
<tr><td>障がい者福祉の充実</td><td>①　遠野市地域活動支援センター「カムカム」（Ⅲ型）の設置運営
（遠野市補助事業）
【予算】10,912 千円
ア　「ちょボラ」内に設置運営
イ　フリースペース開所（火曜～日曜）

ウ　プログラム活動の計画実施
（ア）　地域交流促進、季節行事、学習、体験等

（イ）生産活動・就労準備の支援

エ　生活に係る基本的な相談支援実施

オ　障がい者の福祉に必要な資源の開発

カ　運営の見直し検討</td><td>①　遠野市地域活動支援センター「カムカム」の運営

【決算】9,470 千円
アイ　利用実績　開所日数
<table><tr><th></th><th></th><th>R2</th><th>R1</th><th>H30</th></tr><tr><td colspan="2">登録者数</td><td>28 名</td><td>32 名</td><td>33 名</td></tr><tr><td rowspan="3">利用人数（延べ）</td><td>登録者</td><td>1,541 人</td><td>1,805 人</td><td>1,766 人</td></tr><tr><td>未登録者</td><td>48 人</td><td>138 人</td><td>284 人</td></tr><tr><td>総数</td><td>1,589 人</td><td>1,943 人</td><td>2,050 人</td></tr></table>ウ　プログラム活動の計画実施
（ア）新型コロナウィルス感染症防止に伴い、地域交流の機会であった遠野まつり等が中止となり、活動を制限したものもあったが、感染予防対策をとりながら実施。
実施回数　116 回　参加者数　延べ 318 名
（イ）農作業・収穫体験を実施。
実施回数　６名　参加者数　延べ 22 名

エ　地域、家庭、仕事等に関する生活相談を通し精神的な安定を図ると共に、必要な機関と連携した支援を実施。
オ　農福連携事業への利用者参加。

カ　障がい分野の相談支援体制の中期目標として、相談支援事業所の併設及び当法人の居宅介護支援事業所への障がい相談支援専門員の配置等による支援体制の充実について検討した。</td></tr>
<tr><td></td><td>②　在宅障がい者交流事業（自主事業）

【予算】373 千円
障がい当事者・家族会、関係機関団体・ボランティア等と協力し行事を実施</td><td>②　障がい者の社会参加や交流促進を目的とした行事を企画し実施した。
【決算】42 千円</td></tr>
</table>

<table>
<tr>
<td></td>
<td>ア　日帰り旅行

イ　成人を祝う会

ウ　ふれあい乗馬</td>
<td>ア　日帰り旅行は県内予定だが、未実施。

イ　成人を祝う会は、例年の会食という形を変え、新成人の対象者２名へ、メッセージカードと記念品、花束を贈呈し、お祝いとした。
ウ　乗馬交流参加実績
<table>
<tr><td>6/7</td><td>6/21</td><td>7/5</td><td>8/9</td><td>9/6</td><td>11/15</td><td>計</td></tr>
<tr><td>４名</td><td>４名</td><td>４名</td><td>２名</td><td>中止</td><td>３名</td><td>17名</td></tr>
</table>
遠野馬の里のボランティア　延べ　20名
全６回の計画としたが、市内に新型コロナウイルス感染者がでたことにより、1 回中止とした。「遠野馬の里」と「馬の里スポーツ少年団」の協力により実施できた。今年度は参加者の個別の日誌を付け、馬の里との情報共有を図った。</td>
</tr>
</table>

Ⅲ　在宅福祉事業

１　高齢者支援と高齢者を支える人づくり

<table>
<tr><th>事業名</th><th>事業計画（概要）</th><th>実　施　状　況</th></tr>
<tr><td colspan="3">（１）認知症地域支援事業　　＝新規＝</td></tr>
<tr><td>認知症地域支援事業</td><td>「認知症になっても自由に安心して外出できる町に」を目指す。
①　「隣組単位」での認知症の理解推進
ア　生活支援コーディネーター主導で、隣組単位のケア会議を開催。（地域の「理解の浸透」「見守りの“目”の拡充」）
②　SOS ネットワーク捜索模擬訓練
ア　法人としての役割を果たすべく、SOS ネットークの組織団体として、行方不明者の捜索模擬訓練を実施。</td><td>①　新型コロナ感染防止のためケア会議の開催は見送ったが、生活支援コーディネーターが中心となり、認知症を抱える家族介護者の意見交換の場を設けるなど、個別の対応を行った。
②　ＳＯＳネットワークの構成団体として、登録者の情報把握に努め、捜索協力できる体制を整備。令和２年度の捜索依頼は０件。
予定した模擬訓練は新型コロナのため見送った。</td></tr>
<tr><td colspan="3">（２）奨学金返済助成事業</td></tr>
<tr><td>奨学金返済助成事業</td><td>①　新卒者の雇用促進、現所属職員の離職防止
ア　助成内容
（ア）助成率　1／2（年間総返済額）
（イ）助成上限　96,000 円／人
※遠野市奨学金返済支援制度の 2/3 の額とする。（144,000 円）
（ウ）助成期間　　最大５年</td><td>令和元年度に自身の奨学金を返済している職員に対し、返済額の一部を助成

・助成決定者　　６名
・助成額合計　388,000 円</td></tr>
<tr><td colspan="3">（３）人材確保・人材育成</td></tr>
<tr><td>新卒者の確保</td><td>①　各種学校訪問
②　ホームページ活用による情報発信
③　福祉の仕事（社協）の魅力発信
（ア）中高生を対象としたＰＲ活動
（イ）遠野ケアイノベーション会議開催事業への協力</td><td>①　各種学校訪問
新型コロナ感染防止のため、訪問は中止。
②　ホームページ活用による情報発信
ホームページをリニューアルし、求人情報を積極的に掲載。
③　福祉の仕事（社協）の魅力発信
遠野市主催、市内高校生（1 年生）を対象とする、企業説明会での法人業務を説明。</td></tr>
</table>

事業名	事業計画（概要）	実　施　状　況
人材育成	①　コンプライアンスの徹底 ア コンプライアンス自己評価シートを活用した自己診断及び関係法令遵守への理解	事業所単位での職員説明会、意見交換会を開催。 自己評価シートについては、令和３年度実施。
職員研修の充実	①　職員研修計画に基づき、職員研修の実施による資質向上 ②　介護福祉士、社会福祉士、社会福祉主事、介護支援専門員等資格取得の奨励。介護支援専門員については受験対策のフォロー介護初任者研修、介護実務者研修の受講	①　法人全体の研修会は、新型コロナのため中止。 各事業所単位、または WEB 研修会に参加し職員間で情報共有を図った。 ※研修内容は別紙冊子参照。 ②　介護支援専門員受験対策講座を開催。全国模擬試験を実施した。 また、各種資格取得者に受講しやすいシフト調整と費用のバックアップを実施した。 ※資格取得者 ・社会福祉士　１名 ・社会福祉主事資格　１名（見込み） ・介護支援専門員　１名 ・介護職員初任者研修　４名

２　介護保険事業の基盤の強化

事業名	事業計画（概要）	実　施　状　況
（１）介護保険事業の経営基盤強化の取組み		
介護保険事業所の収支の適正化	①　持続可能な適正運営 各拠点毎、実情に合わせた適正規模の事業所運営の検討 ふれあいホーム上郷営業日短縮 ②　令和３年度の制度改正、報酬改定の情報収集	①　持続可能な適正運営 新型コロナ対策の徹底により、サービス提供を継続させた。 持続可能な事業運営のため、令和元年度利用者が大幅に減少したふれあいホーム上郷について、収支均衡、適正規模の運営を目指し７月１日より土曜日、日曜日を閉所した。 週２日間の閉所に伴い６名の常勤職員を他事業所に分散、人件費 19,013 千円（前年度比）の抑制を図った。 収益については、利用者減少に歯止めがかからず、令和２年度は施設入所者 25 名、死亡 19 名等、前年度を上回る除籍者数となり、新規利用者の確保にも力を入れたが、増収に結びつかなかった。 ②　令和３年度の制度改正 近年にない大規改正、改定に対応するため、情報収取及び情報共有に努めた。 また新型コロナに対する臨時的な取り扱い第 12 報に迅速に対応した。 ア　慰労金支給事業 項目 / 対象者 / 交付額 介護分 / 166 名 / 8,300,000 円 障害分 / 12 名 / 600,000 円 ※委託運転手等含む

<table>
<tr><th>事業名</th><th>事業計画（概要）</th><th>実　施　状　況</th></tr>
<tr><td></td><td>③　経費削減の継続
事業費及び事務費の削減の継続。
公用車の効率的使用

④　障がい福祉サービスの継続
共生型サービスを目指し通所介護事業所4ヶ所、訪問介護事業所の障害サービス提供の継続

⑤　医療保健サービス
訪問看護ステーションでの医療保健サービスの提供の継続</td><td>※対象外の職員 10 名については、賞与一時金として同額を法人から支給
イ　緊急包括支援事業
<table><tr><th>項目</th><th>対象</th><th>交付額</th></tr><tr><td>介護保険事業</td><td>10 事業所</td><td>7，763,000 円</td></tr><tr><td>医療保険事業</td><td>1 事業所</td><td>700,000 円</td></tr></table>ウ　臨時加算の算定（第 12 報関係）
<table><tr><th>事業所名</th><th>延利用者数</th><th>報酬額</th></tr><tr><td>ふれあいホーム薬研淵</td><td>529 名</td><td>1,595,880 円</td></tr><tr><td>ふれあいホーム小友</td><td>273 名</td><td>906,220 円</td></tr><tr><td>ふれあいホーム附馬牛</td><td>218 名</td><td>523,842 円</td></tr><tr><td>ふれあいホーム上郷</td><td>369 名</td><td>938,696 円</td></tr><tr><td>ショートステイ上郷</td><td>381 名</td><td>1,056,600 円</td></tr><tr><td>合計</td><td>1,770 名</td><td>5,021,238 円</td></tr></table>③　経費削減の継続
職員会議の在り方、早番業務見直し等を行い、働き方改革の推進と合わせて費用抑制を行った。
また、カラーコピーの禁止や、拠点間での供用の工夫により、公用車 76 台から 71 台に削減するなど事務経費の抑制も行った。
④　障がい福祉サービス
ア　実績
<table><tr><th>事業所</th><th>利用者数（延べ）</th><th>報酬額</th></tr><tr><td>ふれあい薬研淵</td><td>155 人</td><td>1,190 千円</td></tr><tr><td>訪問介護</td><td>1,050 人</td><td>3,060 千円</td></tr><tr><td>訪問入浴介護</td><td>103 人</td><td>1,293 千円</td></tr></table>※その他の事業所は実績なし
⑤　医療保険サービス
ア　実績
<table><tr><th>事業所</th><th>利用者数（延べ）</th><th>報酬額</th></tr><tr><td>訪問看護</td><td>643 人</td><td>7,725 千円</td></tr></table></td></tr>
<tr><td colspan="3">（2）介護保険事業の活動基盤等強化の取組み</td></tr>
<tr><td>組織体制の強化、介護職員の処遇改善</td><td>①　専門職種の確保・配置
ア　配置基準の遵守
イ　配置基準を踏まえた事業所間の連携（兼務体制）
ウ　専門職の離職防止

②　誤薬等の介護事故防止対策の徹底</td><td>①　専門職種の確保・配置
11 事業 10 事業所体制（居宅 3、訪問介護 1、訪問入浴 1、訪問看護 1、通所介護 5、短期入所 1）で事業を展開。
配置基準を厳守する為、兼務体制で対応し、また、職員不足については、中途採用も含め確保に努めた。
※中途採用 5 名（看護師 3 名、介護支援専門員 1 名、事務員 1 名）
②　誤薬等の介護事故防止対策の徹底</td></tr>
</table>

事業名	事業計画（概要）	実　施　状　況
	ア　ヒヤリハット事例を教訓とした事故対策防止 イ　事故種別をインデックス化し、事故分析を強化 ③　感染症対策の強化及び必要物品の備蓄及び基準に沿ったマニュアルの整備 ④　介護職員処遇改善加算 ア　介護職員の処遇改善 イ　介護職員処遇改善加算を継続取得 ⑤　年次有給休暇の確実な取得	事故報告（ヒヤリハット）を毎月の事業所長ミーティングで情報共有し、各事業所内で対応策を検討し再発防止に努めた。 別冊子参照。 ③　感染症対策の強化及び必要物品の備蓄、基準に沿ったマニュアルの整備 新型コロナタイムラインを整備し、段階的に対策を講じた。 また感染対策支援事業（交付金）を活用し、マスクやアルコール等の衛生用品の備蓄を行った。 （約 6 ヶ月間分備蓄） ④　介護職員処遇改善加算 処遇改善加算Ｉを継続算定。令和 2 年（1 月～12 月）の取得総額は 24,283 千円。 ⑤　年次有給休暇の確実な取得 働き方改革に伴う、5 日以上の取得率は 98.8%。
岩手中部地域医療情報ネットワークシステム	「いわて中部ネット」 ＩＣＴを有効活用し、地域に点在する利用者の情報を一元的に見ることで、切れ目のない医療・介護の情報連携の推進	居宅事業所 3 事業所、訪問看護ステーションで継続加入。 ＩＣＴを活用し情報を一元的に見ることで、切れ目のない医療・介護の情報連携の推進を図った。
施設整備の修繕・更新等	協定に基づく、指定管理施設の適切な運営。大規模修繕は遠野市が、小規模修繕は社協で対応。 ①　ふれあいホーム薬研淵 ア　消毒保管機更新 イ　玄関雨漏り修繕（遠野市対応） ② ふれあいホーム小友 避難スロープ設置 ③ ふれあいホーム附馬牛 ウッドデッキ補修 ④ ふれあいホーム上郷 入浴リフト機械更新	指定管理施設の修繕・更新及び備品購入 ①　ふれあいホーム薬研淵 ・玄関屋根修繕、チップボイラー整備、ロードヒーター整備（遠野市対応） ・ベッド等介護備品修繕　81 千円 ・大型加湿器購入　385 千円 ②　ふれあいホーム小友 ・事務室照明器具修繕　93 千円 ・浴室関係修繕　104 千円 ・厨房関係修繕　105 千円 ・大型加湿器購入　385 千円 ③　ふれあいホーム附馬牛 ・ウッドデッキ補修　132 千円 ・廊下照明器具修繕　55 千円 ・大型ボイラー更新 5,203 千円(遠野市対応) ・大型加湿器購入　385 千円 ④　ふれあいホーム上郷 ・入浴設備修繕　387 千円 ・ボイラー修繕　605 千円 ・他施設設備修繕　224 千円 ・大型加湿器購入　385 千円

<table>
<tr><th>事業名</th><th>事業計画（概要）</th><th>実　施　状　況</th></tr>
<tr><td>社協カレンダー配布</td><td>年度カレンダーの作成。介護保険事業所利用者等へ配布し、利用者の利便性の向上</td><td>750 部作成。介護保険サービス利用者を中心に配布。利便性を高めた。</td></tr>
<tr><td>低所得者利用料軽減支援</td><td>市が認定した低所得者を対象として介護報酬自己負担金 10%から 5.5%に軽減</td><td>遠野市が低所得者と認定した者に対して、自己負担金の軽減を実施。
介護報酬の自己負担金の利用料を 10%から 5.5%に軽減し、その差額は社協が 1.3%負担し、遠野市が 3.2%負担。
<table>
<tr><th>年度</th><th>人数</th><th>減免額</th><th>社協負担金</th><th>遠野市負担金</th></tr>
<tr><td>R2</td><td>61</td><td>2,609,546 円</td><td>737,703 円</td><td>1,871,843 円</td></tr>
<tr><td>R1</td><td>64</td><td>2,335,304 円</td><td>674,912 円</td><td>1,660,392 円</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

3　介護保険事業所関係

<table>
<tr><th>事業名</th><th>計画（概要）</th><th>実施状況</th></tr>
<tr><td colspan="3">（1）居宅介護支援事業所</td></tr>
<tr><td>居宅介護支援事業所とおの</td><td>
<table>
<tr><td colspan="2">目標収入額（年間）</td></tr>
<tr><td>介護保険</td><td>30,000 千円</td></tr>
<tr><td>予防/総合</td><td>1,623 千円</td></tr>
<tr><td colspan="2">目標給付件数（月平均）</td></tr>
<tr><td>介護保険</td><td>150 件</td></tr>
<tr><td>予防/総合</td><td>29 件</td></tr>
</table>
【経営目標】
・特定事業所加算Ⅰの継続取得
・関係機関、医療機関等と連携を図り、適切な入退院等の調整
・1 人当たりの担当平均件数、要介護 31 件、要支援 6 件（管理者：要介護 26 件、要支援 5 件）
【処遇目標】
・多様化した世帯全体の課題に対して、関係機関と連携し、支援体制を構築
・包括支援センター、他法人等との協働。ケアマネジメントの質の向上・地域の福祉課題等の把握、関係機関へ情報提供。福祉でとおのづくりへ参画</td><td>
<table>
<tr><td colspan="2">収入額（年間）</td></tr>
<tr><td>介護保険</td><td>29,740 千円</td></tr>
<tr><td>予防/総合</td><td>1,619 千円</td></tr>
<tr><td colspan="2">給付件数（月平均）</td></tr>
<tr><td>介護保険</td><td>143 件</td></tr>
<tr><td>予防/総合</td><td>31 件</td></tr>
</table>
【経営目標】
・特定事業所加算Ⅰは年間通じて取得。
・医療機関からの退院調整は、積極的に対応と加算取得に努めた。
・1 人当たり平均担当件数、要介護 28.4 件、要支援 6 件と目標件数に届かなかった。
【処遇目標】
・多様化した課題に対して、関係機関とケース検討等行い、課題を整理し、支援の構築に努めた。
・外部研修への参加、事例検討会等へ参加し、ケアマネジメントの質の向上に努めた。</td></tr>
<tr><td>居宅介護支援事業所上郷</td><td>
<table>
<tr><td colspan="2">目標収入額（年間）</td></tr>
<tr><td>介護保険</td><td>25,330 千円</td></tr>
<tr><td>予防/総合</td><td>2,125 千円</td></tr>
<tr><td colspan="2">目標給付件数（月平均）</td></tr>
<tr><td>介護保険</td><td>120 件</td></tr>
<tr><td>予防/総合</td><td>40 件</td></tr>
</table>
【経営目標】
・特定事業所加算Ⅱの継続取得
・医療連携を密に行い、より高い加算を取得
・積極的な新規の受け入れ。目標給付件数・給付金額を達成
【処遇目標】
・給付につながらない相談であっても快く受け、利用者、家族が安心して頂ける対応を行う</td><td>
<table>
<tr><td colspan="2">収入額（年間）</td></tr>
<tr><td>介護保険</td><td>24,598 千円</td></tr>
<tr><td>予防/総合</td><td>2,111 千円</td></tr>
<tr><td colspan="2">給付件数（月平均）</td></tr>
<tr><td>介護保険</td><td>116 件</td></tr>
<tr><td>予防/総合</td><td>40 件</td></tr>
</table>
【経営目標】
・特定事業所加算Ⅱを継続取得。
・入院は多いが、退院が少ない状況で医療連携加算の取得は前年より減少。
・新規は断ることなく受け入れたが、件数が伸びず目標に達しなかった。
【処遇目標】
・相談は積極的に受け、対応した。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>事業名</th><th>計画（概要）</th><th>実施状況</th></tr>
<tr><td></td><td>・各種会議や研修に参加し、地域、医療、関係機関の情報収集と連携
・相談援助技術の向上を目指し、積極的な研修の参加</td><td>・新型コロナの影響で、会議・研修については昨年度よりも出席できなかったが、リモート研修を活用し資質向上に努めた。</td></tr>
<tr><td>居宅介護支援事業所宮守</td><td>
<table>
<tr><td colspan="2">目標収入額（年間）</td></tr>
<tr><td>介護保険</td><td>17,019 千円</td></tr>
<tr><td>予防/総合</td><td>870 千円</td></tr>
<tr><td colspan="2">目標給付件数（月平均）</td></tr>
<tr><td>介護保険</td><td>88 件</td></tr>
<tr><td>予防/総合</td><td>15 件</td></tr>
</table>
【経営目標】
・特定事業所加算Ⅲの継続を取得
・関係機関との連携を行い加算を取得
・目標件数、金額の達成に向けた積極的な新規の受け入れ
【処遇目標】
・自宅で安心して過ごせるよう、関係機関との連携を強化
・不足しているサービスや資源開発の推進
・研修会参加による事業所全体の質の向上
</td><td>
<table>
<tr><td colspan="2">収入額（年間）</td></tr>
<tr><td>介護保険</td><td>16,025 千円</td></tr>
<tr><td>予防/総合</td><td>772 千円</td></tr>
<tr><td colspan="2">給付件数（月平均）</td></tr>
<tr><td>介護保険</td><td>81 件</td></tr>
<tr><td>予防/総合</td><td>14 件</td></tr>
</table>
【経営目標】
・特定事業所加算Ⅲを継続取得。
・入退院、退所等にかかる加算取得に努めた。
・積極的な受け入れを行ったが、目標値には届かなかった。
【処遇目標】
・終末期の支援を各種関係機関と連携を取り、終末期の生きがいづくりを支援することが出来た。
・宮守地区で取り組んでいるゴミ課題、他法人と協力し疑似体験を行い、利用者の立場になり考えることが出来た。
・新型コロナで WEB 研修への積極的な参加を行った。また 1 名が主任介護支援専門員の資格取得。事業所全体の資質向上につながった。
</td></tr>
<tr><td colspan="3">（2）訪問介護事業所</td></tr>
<tr><td>ヘルパーステーション薬研淵</td><td>①訪問介護
<table>
<tr><td colspan="2">目標収入額（年間）</td></tr>
<tr><td>介護保険</td><td>41,000 千円</td></tr>
<tr><td>総合事業</td><td>7,888 千円</td></tr>
<tr><td>自立支援</td><td>5,000 千円</td></tr>
<tr><td colspan="2">延利用者数（年間）</td></tr>
<tr><td>介護保険</td><td>11,500 人</td></tr>
<tr><td>総合事業</td><td>2,300 人</td></tr>
<tr><td>自立支援</td><td>2,000 人</td></tr>
</table>
【経営目標】
・新規利用者の積極的受け入れ
・経営意識を向上、経費の削減
・月間、年間売り上げの目標値を達成
【処遇目標】
・業務の質の向上と迅速な対応
・訪問介護サービスの業務の理解と専門性の向上

②訪問入浴</td><td>①訪問介護
<table>
<tr><td colspan="2">収入額（年間）</td></tr>
<tr><td>介護保険</td><td>38,183 千円</td></tr>
<tr><td>総合事業</td><td>5,158 千円</td></tr>
<tr><td>自立支援</td><td>3,060 千円</td></tr>
<tr><td colspan="2">延利用者数（年間）</td></tr>
<tr><td>介護保険</td><td>10,727 人</td></tr>
<tr><td>総合事業</td><td>2,035 人</td></tr>
<tr><td>自立支援</td><td>1,050 人</td></tr>
</table>
【経営目標】
・新型コロナの感染防止対策を講じながらサービス提供の継続に努めた。。
・介護保険では身体介護が伸びたが、総合事業、自立支援事業は新規依頼が少なく減収。
【処遇目標】
・感染症対策の研修を開催し、迅速な対応に備え、また、対応した。
・WEB 研修を活用し、複数の職員が研修に参加した。

②訪問入浴</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>事業名</th><th>計画（概要）</th><th>実施状況</th></tr>
<tr><td></td><td>
<table>
<tr><td colspan="2">目標収入額（年間）</td></tr>
<tr><td>介護保険</td><td>5,820 千円</td></tr>
<tr><td>自立支援</td><td>1,200 千円</td></tr>
<tr><td colspan="2">延利用者数（年間）</td></tr>
<tr><td>介護保険</td><td>432 人</td></tr>
<tr><td>自立支援</td><td>145 人</td></tr>
</table>
【経営目標】
・重度障がいの方にも安心して入浴を提供
・安心と安全を心掛けサービスを提供
【処遇目標】
・心身共にリラックスできる満足した入浴の提供
・事故のないようにサービス提供
・心のこもった挨拶と言葉かけの励行
</td><td>
<table>
<tr><td colspan="2">収入額（年間）</td></tr>
<tr><td>介護保険</td><td>4,330 千円</td></tr>
<tr><td>自立支援</td><td>1,293 千円</td></tr>
<tr><td colspan="2">延利用者数（年間）</td></tr>
<tr><td>介護保険</td><td>315 人</td></tr>
<tr><td>自立支援</td><td>103 人</td></tr>
</table>
【経営目標】
・空き情報の提供に努めたが、利用者獲得できず、目標値の達成はできなかった。
【処遇目標】
・終末期を迎えた利用者様の利用が増えていることから、心のこもった対応に心掛けた。
</td></tr>
<tr><td colspan="3">（３）訪問看護事業所</td></tr>
<tr><td>訪問看護ステーションとおの</td><td>
<table>
<tr><td colspan="2">目標収入額（年間）
看護+リハビリ</td></tr>
<tr><td>介護保険</td><td>30,518 千円</td></tr>
<tr><td>介護予防</td><td>4,971 千円</td></tr>
<tr><td>医療保険</td><td>3,412 千円</td></tr>
<tr><td colspan="2">看護　延利用者数（年間）</td></tr>
<tr><td>介護保険</td><td>1,729 人</td></tr>
<tr><td>介護予防</td><td>103 人</td></tr>
<tr><td>医療保険</td><td>283 人</td></tr>
<tr><td colspan="2">リハ　延利用者数（年間</td></tr>
<tr><td>介護保険</td><td>2,463 人</td></tr>
<tr><td>介護予防</td><td>768 人</td></tr>
<tr><td>医療保険</td><td>262 人</td></tr>
</table>
【経営目標】
・看護師、リハビリともに職員体制の充実
・研修に参加し、スキルアップを図り、多様なニー
ズに対応
・介護保険、医療保険ともに目標金額の達成
【処遇目標】
・医師、事業者間との連携に努め、状態の変化に早
期に気づき判断し、迅速に対応
・サービス内容の均一化、安心・安全なケア提供
・職員一人ひとりが自己の健康、体調管理に努める
</td><td>
<table>
<tr><td colspan="2">目標収入額（年間）
看護+リハビリ</td></tr>
<tr><td>介護保険</td><td>24,602 千円</td></tr>
<tr><td>介護予防</td><td>5,092 千円</td></tr>
<tr><td>医療保険</td><td>6,222 千円</td></tr>
<tr><td colspan="2">看護　延利用者数（年間）</td></tr>
<tr><td>介護保険</td><td>1,079 人</td></tr>
<tr><td>介護予防</td><td>134 人</td></tr>
<tr><td>医療保険</td><td>313 人</td></tr>
<tr><td colspan="2">リハ　延利用者数（年間）</td></tr>
<tr><td>介護保険</td><td>2,360 人</td></tr>
<tr><td>介護予防</td><td>719 人</td></tr>
<tr><td>医療保険</td><td>330 人</td></tr>
</table>
【経営目標】
・看護師が不足し、新規の依頼に対応しきれなかった。
・リハビリは３名体制。新規の相談が増加し、訪問調整を行いいながら対応。計画目標達成による卒業のほか、施設入所により終了となるケースも多かった。
・新型コロナにより WEB 研修が増え、効率的に研修に参加できたが、実技的な研修がなく課題も残した。
・医療保険では終末期（在宅での看取り）対応も多く、目標値を上回った。
【処遇目標】
・新型コロナで電話などにより情報共有に努めた。主治医とはメールにて状態報告、指示受けをおこない早めの対応に努めた。
・利用者の状態についてお互いに情報共有、アドバイスなど行いながらサービス内容の均一化、安心・安全なケア提供に努めた。
</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>事業名</th><th>計画（概要）</th><th>実施状況</th></tr>
<tr><td colspan="3">（４）通所介護事業所</td></tr>
<tr><td>ふれあいホーム薬研淵</td><td>
<table>
<tr><td colspan="2">目標収入額（年間）</td></tr>
<tr><td>介護保険</td><td>90,265 千円</td></tr>
<tr><td>総合事業</td><td>6,960 千円</td></tr>
<tr><td>自立支援</td><td>1,397 千円</td></tr>
<tr><td colspan="2">延利用者数（年間）</td></tr>
<tr><td>介護保険</td><td>9,780 人</td></tr>
<tr><td>総合事業</td><td>1,560 人</td></tr>
<tr><td>自立支援</td><td>204 人</td></tr>
</table>
【経営目標】
・新規利用、臨時利用に柔軟に対応
・個別機能訓練はスタッフ全体で関わり、質の向上を目指す
・口腔機能向上の重要性を共通認識し、取り組みを継続
・各種研修の積極的に参加し、自己研鑽に努める
【処遇目標】
・気持ち良い挨拶と安心できる送迎の実践
・利用者の個性を尊重し、快い言葉使いによるサービスの提供
・利用者及び関係機関との密接な連携
・季節感と彩ある食事提供</td><td>
<table>
<tr><td colspan="2">収入額（年間）</td></tr>
<tr><td>介護保険</td><td>79,961 千円</td></tr>
<tr><td>総合事業</td><td>6,485 千円</td></tr>
<tr><td>自立支援</td><td>1,190 千円</td></tr>
<tr><td colspan="2">延利用者数（年間）</td></tr>
<tr><td>介護保険</td><td>9,417 人</td></tr>
<tr><td>総合事業</td><td>1,623 人</td></tr>
<tr><td>自立支援</td><td>155 人</td></tr>
</table>
【経営目標】
・空き状況について、居宅介護支援事業所に定期的に連絡し利用者の獲得に努めた。
・機能訓練指導員以外の職員も業務に携わり、訓練の実施内容を把握する機会をもつことができた。
・口腔機能加算算定者はいなかったが、利用時のみならず家庭においても口腔ケアが実践できるよう支援した。
・外部研修が少なかった分、事業所内研修やWeb 研修にて資質向上に努めた。
【処遇目標】
・降雪後送迎中の事故が相次ぎ、運転手と同乗職員の連携において課題が残った。
・「慣れ」による言葉遣いの乱暴さがあり、次年度への課題となった。
・今年度は緊急時の対応が多かったが、その都度対応手順を見直しながら業務にあたることができた。
・利用者の嗜好について聞き取りをしながら、彩を考えた食事を提供することができた。</td></tr>
<tr><td>ふれあいホーム小友</td><td>
<table>
<tr><td colspan="2">目標収入額（年間）</td></tr>
<tr><td>介護保険</td><td>45,800 千円</td></tr>
<tr><td>総合事業</td><td>5,178 千円</td></tr>
<tr><td colspan="2">延利用者数（年間）</td></tr>
<tr><td>介護保険</td><td>5,410 人</td></tr>
<tr><td>総合事業</td><td>1,240 人</td></tr>
</table>
【経営目標】
・新規利用者および臨時利の積極的な受け入れ
・研修会への積極的な参加による職員個々のスキル向上
・地域行事へ参加し、住民のニーズの把握、及び課題解決に向けた取り組みの実践
【処遇目標】
・安心、安全な送迎と車輌事故ゼロを目指す
・個々に合わせたレク活動の提供。
・季節感ある施設の雰囲気作り、色彩のある食事供
・全職員が資格取得を目指す</td><td>
<table>
<tr><td colspan="2">収入額（年間）</td></tr>
<tr><td>介護保険</td><td>46,352 千円</td></tr>
<tr><td>総合事業</td><td>5,238 千円</td></tr>
<tr><td colspan="2">延利用者数（年間）</td></tr>
<tr><td>介護保険</td><td>5,497 人</td></tr>
<tr><td>総合事業</td><td>1,308 人</td></tr>
</table>
【経営目標】
・新規契約件数は 22 件。全般的に介護度が高く、入退院を繰り返す利用者が多かった。また、積極的に臨時利用を受け入れた。
・新型コロナの影響で、外部研修には参加できなかったが、内部研修を主に行い職員個々のスキル向上を図った。
【処遇目標】
・利用者が乗車中は安心・安全な送迎をサービスを提供することができたが、冬道での物損事故が 1 件発生。事業所間で冬道での運転等の確認をし、再発防止に努めた。
・活動に制限があるなかで、職員間で話し合い工夫したサービスの提供を行った。
・資格取得に向けて、個々に取り組み資格を取得することが出来た。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>事業名</th><th>計画（概要）</th><th>実施状況</th></tr>
<tr><td>ふれあいホーム附馬牛</td><td>
<table>
<tr><td colspan="2">目標収入額（年間）</td></tr>
<tr><td>介護保険</td><td>38,258 千円</td></tr>
<tr><td>総合事業</td><td>2,904 千円</td></tr>
<tr><td colspan="2">延利用者数（年間）</td></tr>
<tr><td>介護保険</td><td>4,512 人</td></tr>
<tr><td>総合事業</td><td>936 人</td></tr>
</table>
【経営目標】
・新規利用者の獲得と臨時利用の積極的な受入れ
・外部研修、自主研修よる職員スキルの底上げ
・地域づくりへの参加及び地域貢献
【処遇目標】
・利用者の自立を目指した、寄り添い型のサービス提供
・家族負担の軽減、安心して利用できる環境整備
・利用者個々を尊重した丁寧な接遇
</td><td>
<table>
<tr><td colspan="2">収入額（年間）</td></tr>
<tr><td>介護保険</td><td>34,598 千円</td></tr>
<tr><td>総合事業</td><td>2,058 千円</td></tr>
<tr><td colspan="2">延利用者数（年間）</td></tr>
<tr><td>介護保険</td><td>4,112 人</td></tr>
<tr><td>総合事業</td><td>549 人</td></tr>
</table>
【経営目標】
・新規利用者の獲得を目指し、空き状況等の情報提供を行った。
・外部研修参加、更に内部研修を行い職員のスキルの底上げを行った。
・新型コロナの影響で各種地域行事が中止となったが、保育園等から作品が寄せられた。
【処遇目標】
・利用者一人一人の状態を把握し、自立を目指した寄り添い型のサービスの提供が行えた。
・臨時利用の受け入れ、また安心して利用できるように環境整備をすることが出来た。
・接遇には十分配慮してきたが、一部言葉使いの乱暴さが見られたため、職員会議等で接遇について確認を行った。
</td></tr>
<tr><td>ふれあいホーム上郷</td><td>
<table>
<tr><td colspan="2">目標収入額（年間）</td></tr>
<tr><td>介護保険</td><td>68,300 千円</td></tr>
<tr><td>総合事業</td><td>7,637 千円</td></tr>
<tr><td colspan="2">延利用者数（年間）</td></tr>
<tr><td>介護保険</td><td>7,960 人</td></tr>
<tr><td>総合事業</td><td>1,580 人</td></tr>
</table>
【経営目標】
・新規利用者の獲得と臨時利用者の柔軟な受け入れ
・積極的に研修会へ参加し、職員の質の向上や、資格取得を目指す
・地域のニーズ把握や課題を抽出し、利用者の掘り起こし目指す
【処遇目標】
・利用者を尊重し、丁寧な言葉使いで対応
・個々が活動できるレクリエーションや行事を提供
・安心、安全な送迎及び介護のサービスを提供
</td><td>
<table>
<tr><td colspan="2">収入額（年間）</td></tr>
<tr><td>介護保険</td><td>52,432 千円</td></tr>
<tr><td>総合事業</td><td>6,820 千円</td></tr>
<tr><td colspan="2">延利用者数（年間）</td></tr>
<tr><td>介護保険</td><td>6,647 人</td></tr>
<tr><td>総合事業</td><td>1,595 人</td></tr>
</table>
【経営目標】
・居宅支援事業所に空き業況の報告、ふれあいだよりでの複数回利用希望を募った。また、臨時利用については常時対応した。
・新型コロナにて研修は少なかったが、WEB 研修、内部研修に積極的に取り組んだ。
・在介、ケアマネと情報交換したが、ディサービス利用に結び付けれなかった。（施設に入所される方が多い）
【処遇目標】
・言葉使いや接遇全般について課題がある。定期的に研修を行って行く必要がある。
・新型コロナにて外での活動や慰問は中止。そのため職員の寸劇等行うなどの工夫をした。
・送迎に関しては、個々のニーズに対応し安心、安全に実施した。
　介護サービスについては、1 件の転倒事故が発生したが大事に至らなかった。自力歩行される方が多く、限られた職員で利用者の転倒をどのように防ぐかが課題。
</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>事業名</th><th>計画（概要）</th><th>実施状況</th></tr>
<tr><td colspan="3">（５）短期入所生活介護事業所</td></tr>
<tr><td>ショートステイ上郷</td><td>
<table>
<tr><td colspan="2">目標収入額（年間）</td></tr>
<tr><td>介護保険</td><td>69,800 千円</td></tr>
<tr><td>介護予防</td><td>1,640 千円</td></tr>
<tr><td>特定入所費</td><td>21,400 千円</td></tr>
<tr><td colspan="2">延利用者数等（年間）</td></tr>
<tr><td>介護保険</td><td>6,280 人</td></tr>
<tr><td>介護予防</td><td>71 人</td></tr>
<tr><td>1 日平均</td><td>17.4 人</td></tr>
<tr><td>稼働率</td><td>87%</td></tr>
</table>
【経営目標】
・新規利用者の積極的な受け入れ
・稼働率維持のため、キャンセル発生時のロスを最小限にとどめる対応
・思いやりを持ち、ご利用者様の最善を考えたサービス提供
【処遇目標】
・利用者への丁寧な対応
・利用者、家族より信頼を得る対応
・介護事故のないサービス対応
</td><td>
<table>
<tr><td colspan="2">収入額（年間）</td></tr>
<tr><td>介護保険</td><td>57,690 千円</td></tr>
<tr><td>介護予防</td><td>91 千円</td></tr>
<tr><td>特定入所費</td><td>20,438 千円</td></tr>
<tr><td colspan="2">延利用者数等（年間）</td></tr>
<tr><td>介護保険</td><td>6,273 人</td></tr>
<tr><td>介護予防</td><td>18 人</td></tr>
<tr><td>1 日平均</td><td>17.2 人</td></tr>
<tr><td>稼働率</td><td>86.2%</td></tr>
</table>
【経営目標】
・新規相談はすべて対応したが、昨年の利用者数を下回った。
・キャンセル時の対応で機能せず、空室利用が上手くいかなかった
・個々の対応を重視し、思いやりを持って対応しサービス提供した。
【処遇目標】
・接遇には十分配慮したが、一部不適切な対応もあり、その都度、改善を図った。
・ご利用者、ご家族から感謝の言葉を頂き、職員の意欲向上に繋がった。
・ヒヤリハットが多く発生。大きな事故に至る前に予防出来た。
</td></tr>
</table>

【参考】

共同募金事業関係

1　概　要

民間社会福祉事業の一翼を担う活動として市民のたすけあいによる募金の推進と地域福祉の充実を進め、誰もが住みなれた地域で安心して生活することができる地域社会を構築するため、多くの市民の皆さまや関係機関のご協力をいただき実施しました。

また、市内福祉団体への助成業務と、歳末たすけあい募金における支援を必要とする市民に対し激励金の配分を実施しました。

その他、「赤い羽根アクションプランいわて」の基本方針に基づき、募金運動を実施しました。

2　令和２年度赤い羽根共同募金運動の結果について

募金目標額　　7,258,000 円（前年度　7,450,000 円）
募金実績額　　7,207,024 円（前年度　7,185,960 円）
目標達成率　　99.30%（前年度　96.46%）

【募金内訳】

区　　分	令和２年度		令和元年度	
(1)戸 別 募 金	7,830 件	3,915,800 円	7,767 件	3,886,000 円
(2)大 口 募 金	723 件	1,506,500 円	760 件	1,586,000 円
小計 (支部募金合計)	**8,553 件**	**5,422,300 円**	**8,527 件**	**5,472,000 円**
(3)法 人 募 金	179 社	933,000 円	182 社	944,000 円
(4)街 頭 募 金	1 件	1,938 円	8 件	72,951 円
(5)学 校 募 金	16 校	363,891 円	12 校	205,326 円
(6)職 域 募 金	23 件	173,289 円	18 件	151,626 円
(7)興 行 募 金	0 件	0 円	11 件	154,644 円
(8)個人・団体募金	2 件	70,000 円	0 件	0 円
(9)そ　の　他	34 件	242,601 円	22 件	185,408 円
小計 (事務局受付分)	**255 件**	**1,784,719 円**	**253 件**	**1,713,955 円**
(10)預 金 利 息	2 件	5 円	2 件	5 円
合　　計	**8,810 件**	**7,207,024 円**	**8,782 件**	**7,185,960 円**

総　括

赤い羽根共同募金運動は、10 月 1 日から 12 月 31 日までの 3 ヶ月間、市民の方々の募金協力をはじめ、行政区長、班長、民生児童委員、地区センター等の多大な協力をいただきました。

今年度も「赤い羽根アクションプラン」を受け、目標額を前年度実績より 1%増の 7,258 千円としました。目標額には達しませんでしたが、コロナ禍でも学校募金・商店内の募金箱募金の協力を得たことより昨年を上回る募金額となりました。

街頭募金・イベント募金はコロナ禍によりできませんでしたが、大口募金の記念品にピンバッジ、法人募金には例年のボールペンからエコバックに変更配布したことで、地域に赤い羽根募金を PR することができました。

３　令和２年度歳末たすけあい運動の結果について

募金目標額　　2,699,000 円（前年度　2,790,000 円）

募金実績額　　2,688,165 円（前年度　2,671,972 円）

目標達成率　　99.60％（前年度　95.77％）

【募金内訳】

区　　分	令和２年度		令和元年度	
(1) 戸 別 募 金	8,481 件	2,551,000 円	8,489 件	2,550,605 円
(2) その他の募金	4 件	137,165 円	4 件	45,000 円
(3) 歳末演芸祭募金	0 件	0 円	1 件	76,367 円
(4) 預 金 利 息	0 件	0 円	0 件	0 円
合　　計	**8,485 件**	**2,688,165 円**	**8,494 件**	**2,671,972 円**

※　一般募金および地域歳末たすけあい募金収納中に生じた預貯金利息は、一般募金の実績に含めることとなっています。

配分実績額　　1,020,000 円

【配分内訳】

区　　分	令和２年度		令和元年度	
(1)生活困窮世帯	52 件	260,000 円	50 件	250,000 円
(2)一人暮し高齢者	51 件	255,000 円	40 件	200,000 円
(3)高齢者夫婦世帯	3 件	15,000 円	6 件	30,000 円
(4)母子・父子世帯	35 件	175,000 円	31 件	155,000 円
(5)遺児世帯	0 件	0 円	0 件	0 円
(6)里親世帯	1 件	5,000 円	1 件	5,000 円
(7)要介護者世帯	60 件	300,000 円	68 件	340,000 円
(8)災害被災世帯	2 件	10,000 円	4 件	20,000 円
合　　計	**204 件**	**1,020,000 円**	**200 件**	**1,000,000 円**

配分剰余金　　1,668,165 円（＝2,688,165 円－1,020,000 円）

総　括

歳末たすけあい募金運動は 12 月 1 日から 12 月 31 日までの１ヶ月間行われ、赤い羽根共同募金運動と同様に市民の皆様の募金協力をはじめ、行政区長、班長、民生児童委員、地区センター等の協力をいただき募金活動、激励金の配分を実施しました。

歳末たすけあい募金運動においても、目標額を前年度実績より 1%増の 2,699 千円としましたが、目標額には達しませんでした。

コロナ禍で減額も想定しましたが、団体募金の協力があり昨年度より増額になっております。

激励金配分については、対象者の増加により、前年度と比較して 4 件 20,000 円の増額となりました。

４　令和２年度募金実績による配分（令和３年度事業として受配）　（単位：千円）

区　分		内　容		
共同募金配分金		６，９４９千円		
内訳	事　業　名		予算額(千円)	
			事業総額	うち配分金
	配分金事業	福祉バザー開催事業	110	110
		心配ごと相談運営事業	240	240
		広報・調査活動事業	564	564
		一人暮らし高齢者交流事業（交流会・友愛活動）	720	720
		ふれあいいきいきサロン事業	2,590	1,650
		ふれあいホーム利用者送迎支援事業	660	660
		障がい者等福祉団体運営	697	697
		（うち障がい者福祉団体助成）	(205)	(205)
		（うち民生児童委員活動助成）	(442)	(442)
		（わらすっこまつり助成事業）	(50)	(50)
		支部社協活動助成事業	1,014	1,014
		一般公募団体助成	440	440
		福祉団体等研修活動促進支援事業	1,464	854
		小　計	8,499	6,949
			事業総額	うち募金
	募金事業	歳末たすけあい配分金事業(激励金)	1,600	1,600
	合　計		10,099	8,549